

第78回国民スポーツ大会銃剣道競技  
北海道ブロック予選会兼北海道体育大会要項

- 1 期 日：令和6年5月25日（土） 【8時30分開館】
- 2 場 所：陸上自衛隊 北恵庭駐屯地 体育館 （恵庭市柏木町531番地）
- 3 主 催：公益財団法人 日本スポーツ協会  
公益財団法人 北海道スポーツ協会
- 4 主 管：北海道銃剣道連盟
- 5 後 援：スポーツ庁  
北 海 道
- 6 協 力：恵庭銃剣道連盟
- 7 国体参加（成年男子）チーム選考要領
  - (1) 参加要件
    - ア 第64回北海道銃剣道選手権大会において、下記の成績を収めたチームとする。
      - (ア) 銃剣道 自衛官 成年第1部 において、第3位までの入賞チーム
      - (イ) 銃剣道 自衛官 成年第2部 において、優勝・準優勝のチーム
      - (ウ) 銃剣道 自衛官 成年第3部 において、優勝・準優勝のチーム
    - イ 選手3名中に1名以上は、日本スポーツ協会公認銃剣道コーチ以上の有資格者が含まれていること。
    - ウ 予選会に出場するチームは、事前に部隊長の国体本戦参加承認を得ていること。
    - エ 令和5年度年会費未納者及び過去2年以内に他都府県から選手として国体に出場した者の参加は認めない。
    - オ 参加申し込み締め切り前に参加辞退が確定したチームは、地方連盟事務局を通じて北銃剣連事務局まで通知されたい。（電話連絡：可）
  - (2) 北海道ブロック第2次予選会  
上記、(1) 項の条件を全て満たしたチームによる、選考試合とする。
- 8 予選会実施規則

(1) チーム編成

先鋒・中堅・大将の3名で編成されたチームで、1名は監督を兼ねる。

—3—

(2) 予選会試合・審判規則及び試合方法

ア 「銃剣道試合・審判規則及び細則」並びに本予選会試合規則により勝敗を決する。

イ 試合はトーナメント方式で行う。

組み合わせは、北海道銃剣道連盟が行う。

組み合わせに関する異議の申し立ては一切受け付けない。

ウ 試合は、5分間3本勝負とし、延長は2分間×1回を行い、勝敗が決しない場合は判定とする。

エ 相手の木銃を故意に打ち払って落とそうとする行為は、反則とする。

故意とする基準は、相手が片手で木銃を持つ状態になってから2回以上打ち払う動作を行うことを基準とする。

オ 場外反則の基準は、原則的に場外に両足が着地した状態を基準とする。

ただし、片足が浮いた状態で片足が場外に出た場合、瞬時に片足を場内に戻すことができないほど試合場の区画線と場外に出た選手の距離があると判断される場合は、両足が着地していなくても場外反則とする。

カ 銃剣道試合・審判規則第19条11項の接近状態の開始は、双方の小手が触れ合う程度の間合いとし、解除は双方の木銃の交差が10cm（基本の間合い）まで離れた状態とする。

キ 接近状態の反則裁定の細部は、審判・引率者会議において競技力向上委員が説明する。

(3) 参加上の注意

ア 試合者の服装は、「銃剣道試合・審判規則及び細則」第5条及び細則第4条のとおりとする。

道衣・袴の色は、チームで統一するものとし、称号・段位識別章を着用することを厳守すること。

イ 選手は、垂の中央部に「銃剣道教則」別図一5の名札を縫着すること。

ウ 面には、防具店等で市販されているフェイスガード又はフェイスシールドを必ず装着するものとする。（マスクの着用は、個人の判断に委ねる。）

エ 選手の試合開始前の相互の礼の際に、出場申し込み時のチーム名を記した名札及び識別章を着用していない場合は不戦負けとすることがある。

オ 木銃は、「銃剣道教則」別図一2を基準とする長木銃とし、突起部から40cmの位置とそこから20cmの位置に幅1cmの白テープ又は白の塗料の外側から外側が20cmになるように表示すること。

カ 前項で示す握り部位位置表示又は木銃の床底キャップ装着目的以外でテー

プを巻いた木銃及び異形の用具等は使用できない。

#### －4－

キ サポーター・足袋・テーピング等の使用を禁ずる。

ただし、特別な事情がある場合は、審判長の承認を得て使用することができる。

ク 試合は、組み合わせ番号の若いチームを赤、番号の大きいチームを白とし、選手は各チームで用意した当該色のタスキを試合開始前に装着すること。

ケ 試合申し込み後のオーダーの入れ替えは認めない。

コ 出場選手の交代届は、予選会当日の開会式前まで認める他、試合中の受傷等により、次の試合への参加が不可能になった場合も認める。

ただし、交代となった登録選手がチーム唯一のコーチ1有資格者であり、これ代わり新たに出場登録する選手が無資格者の場合は、チームとしての参加資格はこの時点で無いものと判定する。

サ 本予選会において不正は発覚した場合は、予選通過確定以降であってもこれを取り消すことがある。

シ 国民スポーツ大会の予選会であることから、選手以外から監督を指定することが無いため試合場周辺へのチーム関係者の立ち入りを厳に禁ずる。

ス 参加者は、個人の責任においてスポーツ傷害保険に加入すること。

### 9 入館制限

応援及び観戦者の入館制限は、特に設けない。

### 10 予選会審判規則

(1) 審判員は、北海道銃剣道連盟に在籍する A 級審判資格保有者とし、主審 1 名、副審 2 名をもって組織する。

審判員の服装は、「銃剣道試合・審判規則及び細則」第 31 条及び北海道銃剣道連盟が示した服装とする。(天候及び室内気温により、上位を脱し、白色半袖ワイシャツに統制する場合がある。)

(2) 審判員は、「銃剣道試合・審判規則及び細則」並びに本予選会規則により勝敗を決定する。

勝敗に関する異議の申し立ては、一切受け付けない。

(3) 審判員のマスクを着用は、個人の判断に委ねる。

(4) 審判旗は個人が準備(携行)し、貸借は行なってはならない。

### 11 認定書の交付

予選会において第 1 位の成績を取めたチームには、閉会式において国民スポーツ大会本戦参加資格認定書を交付する。

12 予選会参加申込み締め切り及び参加料

(1) 参加申込み：北銃剣連第10号(6, 4, 12)別紙第2の様式に所要の事項を記入し、令和6年5月14日(火)事務局必着で提出。(fax：可)

(2) 参加料

選手1名×2,000円(当日、代表者による入金：選手受付時)

※ 途中交代で出場した選手の参加料は徴収しない。

13 その他

(1) 北海道を代表するチームを選考するための試合であることから、異形な用具の使用及び不敬な態度を厳に戒め、確認した場合は役員協議の上、退場させる場合がある。

(2) 新型コロナウイルス感染症の脅威が完全に排除されたわけではないことから、会場内の全ての者が感染防止に留意し、換気・手洗い等に努めるものとする。

---

この事業は、競輪の補助を受けて実施しています。

競輪の補助事業

